

氏名	中畷 裕之	所属	生物応用化学科	職位	教授
----	-------	----	---------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	40	1. 前期は本科2科目、専攻科1科目を、後期は本科4科目、専攻科1科目の授業を行う。 2. 各科目について、動画を導入したPP資料を作成する。本科1科目は教科書を変更予定である。 3. 卒研生3名、専攻科生3名の研究指導を行う。 4. 沖縄高専との共同研究を遂行する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	20	1. 従来から校費で進めてきた日本産地衣に関する研究を本科性ととともに進める。 2. 南極産地衣に関する研究を沖縄高専と共同で進める。本課題で科研費及びその他外部資金を獲得する。また、その研究成果を「南極資料」等の学会誌で発表する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	10	1. 弓道部の顧問として普段の活動指導と遠征随行を行う。 2. ピアノ同好会の主担当顧問として普段の活動指導を行う。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1. 産学民連携テクノセンター部門マネージャーとしてセンター業務を遂行する。 2. 図書運営委員会の委員として図書に関する課題の検討や実施を行う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	10	1. 日本地衣学会評議員として学会運営に携わる。 2. 福岡バイオ産業創出事業 技術評価委員として提案課題審査を行う。 3. 久留米市環境審議会委員として久留米市環境審議会における久留米市環境基本計画策定・変更に関与する。 4. 久留米市から依頼のある各種体験授業講師として活動する。 5. 九州沖縄地区高専フォーラム協議会副会長として統括・運営に携わる。
		実績		

## 教員業務内容報告書

報告者氏名	中  篤  裕  之			所属	生化	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画				実績			記載事項例	
	エフォート	内容			エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	35	<p>講義:専攻科(分子生物学、生体機能分子学)は参考図書を再検討し、PP資料等の改訂を行う。本科(バイオ工学、遺伝子・細胞工学、生物学2)はPP資料に動画の導入を行う。他学科(物質工学概論、化学工学概論、生物応用化学概論)は前年度の進行状況を踏まえ、講義内容及びその量を調整する。課題および試験のFormsでの作成を試みる。</p> <p>卒業・専攻科研究:卒業研究は、夏休みまでに実験の基礎内容を学生に習得させる。専攻科研究基礎・研究論文は、夏休みまでに研究成果の目途を立たせるよう指導する。何れも、独自テキスト及び実験動画を作成し、実験手法・データ等について情報共有に努める。</p>			40	<p>講義:課題・試験のForms作成には至らなかったが、PP資料は更新した。</p> <p>卒業・専攻科研究:Teamsによる研究室共有は更新した。実験動画作成には至らなかった。</p>		担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容	
研究	30	<p>論文:日本産地衣について論文発表を目指す。南極産地衣について耐凍性機構の遺伝子解析を進め、最低1回の学会発表を目指す。一昨年度から行っている他学科教員との共同研究について学会発表を目指す。既に行っている企業との共同研究について論文にまとめる。今年度から新たな企業との共同研究を進める。これらの実績を含めて外部資金獲得を目指す。</p>			20	<p>他学科教員との共同研究について学会発表を行った。</p> <p>日本産地衣の論文発表には至らなかったが、南極産地衣に関する研究を他高専教員と開始した。</p>		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金	
学生生活指導	5	<p>弓道部顧問として、休日練習への立会い、大会引率等を行う。</p> <p>研究室学生の進路対応にて、面接練習等指導する。</p>			5	<p>顧問・研究室学生いずれの指導も行った。</p>		クラブ顧問 コンテスト指導	
校務・管理運営	20	<p>産学民連携テクノセンター部門マネージャーとして、テクノネット久留米事業の運営に努める。</p> <p>公開講座等を通して、小中学生へのPR活動に努める。</p>			25	<p>産学民連携テクノセンター部門マネージャーの業務を遂行した。</p> <p>各種公開講座も積極的に行った。</p>		主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員	
社会活動	10	<p>日本地衣学会の評議員を継続する。</p> <p>一日体験入学、公開講座等の実験・説明担当を担う。</p> <p>九州沖縄地区高専フォーラム副会長として、次回フォーラム開催の企画運営をフォローする。</p>			10	<p>何れの社会活動も積極的に遂行した。</p>		所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動	

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。